

# DREAMING No.12

令和6年11月10日  
長崎市立福田小学校  
学校だより  
校長 寺田 成広

心を満たし、夢や願いを叶える学校 ～見つめよう 認めよう～

## 校外学習で期待する姿とは

10月31日、11月1日、修学旅行を実施しました。



子どもたちは、事前の学習で「人やものとのふれあい(自分の生き方考え方を見つめる)」、「社会の一員として協力性・責任感(時と場に合った行動をとる)」、「小学校時代のよい思い出に(人のよいところを見つけ新たな人間関係つくる)」という旅行のめあてを立てていました。

2日間を通した子どもたちの言動は、「安全、礼儀・マナーに気をつける」、「時間を守る」、「活動を楽しむ」、「グループで協力する」等ができていて素晴らしいものでした。その中でも私が特に感心したのは、一日目の夜の『班長会議』です。活動班、生活班の班長が集まった中でその日の自分たちの行動を振り返りました。「班行動ができていた。」、「声掛けなしで集合していた。」、「返事・挨拶をしっかりとできた。」等の良かったことや、「廊下で話す声大きい。」、「班行動が乱れたときがあった。」、「昼食のときゴミを散らかしてしまった。」等の課題が、具体的に班長から次々と出てきました。

自分や自分たちを見つめることができ、それを出し合ってより高みを目指そうとする雰囲気は6年生にあるからできるのだと考えます。卒業まであと5か月足らず、ますますの成長が期待できます。

修学旅行の画像は Vol.7までアップされています ⇒ <https://tinyurl.com/nhbsxfbf>



当たり前のことかもしれませんが、学校での学びは学校生活のためにあるのではなく、学校外の公の世界(パブリック)において考えて、行動できるようになるためにあります。家庭教育も同じで、家庭内(プライベート)で身に付けた躰等が、外でしっかりと実践できることを目指していると思います。

「外面がいい」という表現は、ネガティブな意味を含む場面で使われますが、「内側からあふれ出る外面の良さ」は、子どもたちに期待する姿と言えます。

10月29日(火)には、ひびき・なかよし・えがお学級の子どもたちが、西部地区特別支援学級交歓会に出場しました。残念ながら私は参加できなかったのですが、参加した永江教頭から、「子どもたちは、場に応じて動くことや、ルールを守って競技することがしっかりできていました。」との報告を受けました。翌日の朝に参加した感想を直接尋ねたのですが、「緊張したけどちゃんと練習したことができた。」との答えが返ってきました。どの子の表情も満足気でした。

学校での学びを、外でしっかりと発揮できたことへの充実感を感じていたからだと思います。

